



ましたがあとで、医院を市内大字小作田にうつして幽蘭堂^{ゆうらんどう}医院と名づけました。おじいさんの長俊からこの地方の蘭方^{らんぽう}医のさきがけという意味です。

健雄はお医者さんでしたが、三十才のとき石川郡会議員にえらばれ、地方自治や、地方産業がさかんになるよう活やくしました。

昔は、小作田から和田へ行くのには、阿武隈川を船でわたっていたので大そうふべんでした。そのため橋をかけてべんりになるように、いつしよけんめい力をそそぎました。

また、村の人達があまり米がとれずこまっていたので、山形県から「亀ノ尾」という寒